



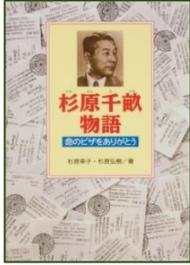
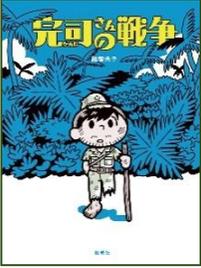
# 平和ってなに？

～戦争を知って平和を考えよう・児童書版～

令和3年度版



	<p>タイトル なぜ戦争はよくないか</p> <p>著者 アリス・ウォーカー/文 ステファーン・ヴィタール/絵 長田弘/訳</p> <p>出版社 偕成社</p> <p>分類 E01/ウ 出版年 2008年</p> <p>所蔵館 全館</p>	<p>平和な世界に、戦争は音も立てず、静かにひそやかに近づいてくる…。 カラフルなページとは対照的に、不気味な戦争の影を感じさせる本。</p>
	<p>タイトル ヒロシマ 消えたかぞく</p> <p>著者 指田和/著 鈴木六郎/写真</p> <p>出版社 ポプラ社</p> <p>分類 E01/サ 出版年 2019年</p> <p>所蔵館 全館</p>	<p>お父さんが撮った、笑顔がいっぱいの幸せそうな家族写真。だが原爆投下により、この家族は、いなくなってしまった。 これは、確かに生きていた家族の記録。</p>
	<p>タイトル 焼けあとのちかい</p> <p>著者 半藤一利/文 塚本やすし/絵</p> <p>出版社 大月書店</p> <p>分類 E01/ハ 出版年 2019年</p> <p>所蔵館 全館</p>	<p>戦争がはじまって世の中は変わってしまった。家族も、学校も。友達も、生活も、人の心も…。 著者である半藤一利さんの体験を描いた絵本。</p>
	<p>タイトル エリカ</p> <p>著者 ルース・バンダー・ジー/文 ロベルト・インノチェンティ/絵 柳田邦男/訳</p> <p>出版社 講談社</p> <p>分類 E02/ジ 出版年 2004年</p> <p>所蔵館 中央・南・上河内・河内</p>	<p>強制収容所にユダヤ人を送り込むために走る列車の窓から、生まれて間もない赤ちゃんが投げられた。生き延びてほしいと願って。 その願い通り、奇跡的に生き延びたエリカの物語。</p>
	<p>タイトル せんそうがやってきた日</p> <p>著者 ニコラ・デイビス/作 レベッカ・コップ/絵 長友恵子/訳</p> <p>出版社 すずき出版</p> <p>分類 E02/デ 出版年 2020年</p> <p>所蔵館 全館</p>	<p>いつも通りの風景は、突然やってきた戦争に破壊された。 ひとりぼっちで避難し、難民となった少女は、座る椅子がないからと学校への入学を断られてしまうが…。 傷ついた人々を思いやる気持ちの大切さを感じる絵本。</p>
	<p>タイトル 字のないはがき</p> <p>著者 向田邦子/原作 角田光代/文 西加奈子/絵</p> <p>出版社 小学館</p> <p>分類 E03/ム 出版年 2019年</p> <p>所蔵館 全館</p>	<p>疎開することになったまだ字の書けない妹に、お父さんは「げんきな日は、はがきにまるをかいて、まいにち1まいずつポストにいれなさい。」と、たくさんのはがきを渡した。ところが、まるはしだいに小さくなっていき…。</p>

	タイトル	せんそうしない	<p>ちようちよとちようちよはせんそうしない。きんぎよときんぎよもせんそうしない。同じ生き物は、けんかはするけど、せんそうはしない。 なぜ人間だけが、せんそうするの？ やさしい言葉と絵で、読む人に問いかける絵本。</p>		
	著者	谷川俊太郎/文 江頭路子/絵			
	出版社	講談社			
	分類	E04/タ		出版年	2015年
	所蔵館	全館			
	タイトル	おもいだしてください あのこどもたちを	<p>ナチスが行ったユダヤ人狩りにより、ユダヤ人の子どもたちがどのように差別され殺されたのか。また、生き延びた子どもたちは、どのように生き抜いていったのか。 忘れてはならない事実を、写真とシンプルな文章で伝える。</p>		
	著者	チャナ・バイヤーズ・アベルス/構成・文 おびただす/訳			
	出版社	汐文社			
	分類	230/ア		出版年	2012年
	所蔵館	中央・東・南・河内			
	タイトル	杉原千畝物語 命のビザをありがとう	<p>第二次世界大戦中、リトアニア領事代理になった杉原千畝(すぎはら ちうね)は、ナチスドイツにより迫害を受けていた多くのユダヤ人を救うため、国の命令にそむいてビザを発行しつづけた。 6000人のユダヤ人の命を救った外交官・杉原千畝の生涯を書いた伝記物語。</p>		
	著者	杉原幸子/著 杉原弘樹/著			
	出版社	金の星社			
	分類	289.1/スギ		出版年	2004年
	所蔵館	全館			
	タイトル	完司さんの戦争	<p>完司さんは、兵隊として向かったグアムで左足を失い、ジャングルで1年以上一人で生き抜いた。 生死をさまよいながらなぜ戦わなければならないのか。完司さんの戦争体験記。</p>		
	著者	越智典子/作			
	出版社	偕成社			
	分類	289.1/ワタ		出版年	2020年
	所蔵館	全館			
	タイトル	ある晴れた夏の朝	<p>戦争を経験していない高校生8人が当時の資料をもとに、広島と長崎に落とされた原爆について討論会を行うことになった。日系アメリカ人のメイは否定派の一人として演壇に立つことになり…。 戦争と平和について問いかける物語。</p>		
	著者	小手鞠るい/著			
	出版社	偕成社			
	分類	913/コデ		出版年	2018年
	所蔵館	全館			
	タイトル	戦場の秘密図書館 シリアに残された希望	<p>「本は雨のようにすべての人に降りそそぐ」シリア内戦下のダラヤの町で、皆の希望となったのは本と図書館だった。 町の地下に秘密図書館を作った若者たちを書いたノンフィクション。</p>		
	著者	マイク・トムソン/著 小国綾子/編訳			
	出版社	文溪堂			
	分類	936/ト		出版年	2019年
	所蔵館	中央・東・南			

発行 令和3年7月 編集・発行 宇都宮市立図書館

問合せ 宇都宮市立中央図書館

〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 電話 028-636-0231